

2021

[ブラインドサッカーマガジン]

発行 / 特定非営利活動法人  
日本ブラインドサッカー協会

# Blind Soccer

*Magazine*

国内初の専用コート  
「MARUI ブラサカ!パーク」誕生!

ブラサカと社会、  
激動の一年を振り返る

JBFAスタッフがコロナ禍で  
見つけた課題と目標

2020ブラインドサッカー  
3大会ダイジェスト

長期パートナー契約締結  
SantenとJBFAの10年の挑戦

# ブラサカ

# 2020→2021

スポーツくら

LOTO

BIG



隣接するクラブハウス内の案内板には、選手が手で触れてわかるように凹凸がつけられている



クラブハウスから専用コートまで、選手が一人で行き来できるように点字ブロックの場所も一つひとつ確認しながら設置した

# 国内初の専用コート 「MARUI ブラサカ!パーク」誕生!



2 020年6月、東京都小平市にある丸井グループの研修施設内に、国内初のブラインドサッカー専用コート「MARUI ブラサカ!パーク」がオープンした。2面あるコートはそれぞれ芝生の長さが異なり、出場大会の条件に合わせた練習が可能だ。さらに、ブラサカ特有のサイドフェンスも常設されている。

コロナ禍で休止していた日本代表の練習も、この場所で再開された。男子日本代表の川村怜キャプテンは感慨を込めて言う。

「トレーニングに集中できる最高の環境。ここが聖地のような場所になったらいいですね」

研修所内にあるためコートは静か。音を頼りにする選手たちにとっても最適な環境だ。クラブハウス内やコートまでの通路は、スロープや凹凸表示など、ユニバーサルデザインで設計されている。

21年2月まで約8カ月間の利用者は延べ2800人ほど。今後も男女の日本代表チーム強化や選手の育成、競技の普及などに、幅広く活用される。

選手や関係者らにとっては、念願の専用コート。ここからまた、ブラサカの新しい歴史が始まる。

## Blind Soccer CONTENTS Magazine

- 3 国内初の専用コート  
「MARUI ブラサカ!パーク」誕生!
- 4 ブラサカ2020→2021①  
ブラサカと社会、激動の一年を振り返る
- 6 ブラサカ2020→2021②  
コロナ禍で見つけた課題と目標  
——JBFAスタッフたちの証言
- 8 ブラサカ2020→2021③  
2020ブラインドサッカー  
3大会ダイジェスト&大会データ
- 11 “見える”と“見えない”の壁を溶かす  
SantenとJBFAの10年の挑戦

### STAFF

発行 特定非営利活動法人  
日本ブラインドサッカー協会

編集 香川 誠  
瀬長あすか

写真 加藤誠夫  
小川和行  
鱈部春雄

デザイン 勝浦悠介(丸山製作所)

### PARTNER



### ご挨拶



2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大が社会に大きな影響を与える一年となりました。

ブラインドサッカーを取り巻く環境も大きく変わり、予定されていた国際大会も中止を余儀なくされました。そんな中でも「さいたま市ノーマライゼーションカップ2020」「KPMGカップブラインドサッカークラブチーム選手権2020」「アクサ×KPMGブラインドサッカー2020カップ」(準決勝ラウンド以降中止)を開催できたのは、パートナー、協賛企業、自治体や学校関係者の皆様、そしてすべてのブラサカファンの皆様の厚いご支援の賜物です。この場を借りて御礼申し上げます。

視覚障がい者と健常者が同じピッチに立ってブラサカには、共生社会を象徴するスポーツとしての訴求力があります。私たちはこのスポーツが持つ力を再認識しつつ、「おたすけ電話相談窓口」の設置や、オンラインによるスポ育体験など、今の自分たちにできる新しい取り組みをスタートさせました。選手の皆さんも、試合の機会が減る中、日々練習に励んでいます。

この一年を足場を固めた一年と捉え、今後も引き続き「混ざり合う社会」を目指して果敢にチャレンジを続ける所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会  
理事長 塩嶋史郎

# ブラサカ2020→2021① ブラサカと社会、 激動の一年を振り返る

新型コロナウイルスの感染拡大により、「中止」や「延期」の文字が並んだ2020年。  
ブラインドサッカーの世界ではどんなことがあったのか。  
これから必要なことは何なのかを考えるためにも、まずはこの一年を振り返ることから始めたい。

●6月19日、厚労省が新型コロナ接触確認アプリ「COCOA」をリリース

6月  
JUNE

- SMBC日興証券 オンラインブラサカ・キッズトレーニングを開催
- 「OFF TIME (オンライン)～個人向けブラインドサッカー体験プログラム」を実施
- 「MARUI ブラサカ!パーク」オープン (→P3)

●7月20日、コロナ感染による累計死者数が1000人を超える  
●7月22日、「Go To トラベルキャンペーン」開始。東京は対象外

7月  
JULY

- 「人が無意識に持つ偏見を可視化する」プログラム「UB-Finder」を発表
- ブラインドサッカー男子日本代表合宿を約5カ月ぶりに再開



●8月7日、一日の全国のコロナ感染者数が1605人に(第2波で最多)  
●8月28日、安倍晋三首相が辞任を表明

8月  
AUGUST

- 9月6日、文京ブラインドサッカーワンデイカップ2020を開催
- 9月13日、本庄ブラインドサッカーワンデイカップ2020を開催
- 第4期「アクサ 地域リーダープログラム with ブラサカ」がスタート

●9月16日、安倍内閣が総辞職し、菅義偉氏が第99代内閣総理大臣に就任

9月  
SEPTEMBER

- 10月4日、「～ブラインドサッカーを未来へつなごう～アクサ×KPMG ブラインドサッカー2020カップ」1stラウンド(堺)を開催 (→P8)
- 10月17日、同1stラウンド(広島)を開催 (→P8)
- 10月18日、同1stラウンド(本庄)を開催 (→P8)
- 10月25日、同1stラウンド(守谷)を開催 (→P8)
- 10月28日、Santen、JBFA、IBF Foundationが「インクルージョン社会」の実現に向け、10年の長期パートナーシップ契約を締結 (→P11)

●10月1日、「Go To Eatキャンペーン」がスタート  
●10月30日、全国の累計感染者数が10万人を超える

10月  
OCTOBER

- 11月14日、同1stラウンド(品川)を開催 (→P8)

●コロナの感染拡大を受け、政府は11月に札幌市と大阪市を「Go To トラベル」から一時除外することを決定  
●年末年始を集中的に感染拡大を抑える期間と位置づけ、政府は「Go to トラベル」の全国一斉停止を表明した

11月  
NOVEMBER

●12月26日、イギリスに滞在歴のある男性が新型コロナウイルスの変異種に感染していたことが確認される  
●12月28日、「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」の興行収入が324億円を超えたと発表される(歴代1位)  
●12月31日、東京都内で新型コロナウイルスの1日の感染者数が初めて1000人を超える

12月  
DECEMBER



(2021年1月7日、埼玉、千葉、東京、神奈川の1都3県に緊急事態宣言が発出される)

## 世の中の主な出来事

- 1月15日、国内で初めて新型コロナウイルスの陽性患者が確認される
- 1月下旬、マスクが全国で品薄状態に

- 2月3日、乗客のコロナ感染が確認された豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」号が横浜港に入港
- 2月13日、新型コロナウイルス感染による国内初の死者
- 2月28日、政府が全国すべての小中学校と高校、特別支援学校に3月2日から春休みまで休校要請
- マスクに続いてトイレペーパーも全国で品薄状態に

- 3月30日、東京オリンピック・パラリンピックが2021年夏に延期されることが決定

- 4月7日、東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に対し、政府は緊急事態宣言を発出
- 4月11日、一日の全国のコロナ感染者数が720人に(第1波で最多)
- 4月16日、緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大
- 4月17日、コロナ感染防止策として全戸への布マスクの配布がスタート
- リモートワーク、リモート会議、リモート飲み会などが定着する

- 5月1日、一律10万円の「特別定額給付金」の申請受付が始まる
- 5月14日、緊急事態宣言を39県で解除
- 5月25日、緊急事態宣言を全国で解除

## ブラサカの出来事

### 2020年

1月  
JANUARY

- 2月8～9日、KPMGカップ ブラインドサッカークラブチーム選手権を開催 (→P9)
- 2月22日、さいたま市ノーマライゼーションカップ2020を開催 (→P9)

2月  
FEBRUARY

- コロナの感染拡大により、Santen IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ2020 in 品川が中止に
- 日本代表合宿やブラサカキッズトレーニングなどすべての事業を中止

3月  
MARCH

4月  
APRIL

- 「視覚障がい者ならどなたでも!おたすけ電話相談窓口」開設 (→P7)

5月  
MAY

- 視覚障がいのある小学生から高校生とその家族を対象に「オンラインブラサカ親子広場」を実施

## ブラサカ2020→2021② コロナ禍で見つけた課題と目標 ——JBFAスタッフたちの証言

あらゆる組織・個人にコロナの影響が及んだ2020年、JBFAも障がい者スポーツ団体ならではの課題に直面した。その時スタッフたちは、どう考え、どう動いたのか。そしてこれから新たに始まることは？



**2** 020年3月に予定していたワールドグランプリを準備しているさなかに、新型コロナウイルスの感染が拡大していききました。状況が刻々と変化する中で、なんとか開催する方法を見つけようと中止決断のリミット

前日まであがきましたが、最終的には中止を余儀なくされました。後処理がひと段落してまわりを見渡すと、社会全体が深刻な事態となっていることに気付かされました。もちろんJBFAも他人ごとではありません。組織が生

### JBFAスタッフたちの証言② 高田敏志 男子日本代表監督 これまでのプロセスに自信を持って、焦らず今できることを!

**昨** 年2月からコロナの影響で数カ月間の活動休止、大会もすべて中止。そして今年1月から2度目の緊急事態宣言により再び活動休止。東京パラリンピックに向けてとても難しい状況が続きました。

自粛期間中はオンラインでのトレーニングや対話を続け、この状況だからこそサッカー以上に大切なものへ向き合う時間を作る一方で、ブラインドサッカーの重要性や価値を改めて確認

できた時間でもありました。活動再開後、選手たちはサッカーができる喜びと感謝の気持ちを感ぜながらトレーニングに励んでいます。「できない理由探しは、しない」

チームの強化プロセスとチャレンジのベースにある考え方は、我々はいかなる困難も乗り越え、東京パラリンピックの舞台で選手が輝くことを信じています。焦らずに今できることに集中するのみです。



### JBFAスタッフたちの証言③ 宮島大輔 事業推進部 大会運営における感染症対策のノウハウを共有したい

**ア** クサ×KPMG2020カップでは、大会実行委員長を務めながら感染症対策を担当しました。今回は1stラウンドを全国5会場で分散開催するなどし、運営にあたってはリーグの事例などを参考にしました。ただ、ブラサカ特有の事情もありました。たとえばブラサカでは、視覚障がいのある選手の手引きをする必要がありますが、その際に人同士の接触は避けられません。そこで

各チームに感染予防担当者をつけ、チーム全体に感染予防対策の啓発をさせていただいたほか、各選手には体温をウェブ上のフォームに打ち込んでもらうなどしました。

大会の準備期間中から終了後しばらくの間は眠れない日が続きましたが、感染者の報告はなくほっとしています。大会を再開できずにいる他の競技団体にも、一連のプロセスを共有していきたいですね。



### JBFAスタッフたちの証言① 松崎英吾 専務理事兼事務局長 こんな時だからこそ、自分たちの方向性を再確認する機会に

3月中旬頃から本格的に動き出して、まず取り組んだのがコロナ禍での活動方針の作成です。先が見えないからこそ、抽象的な概念を打ち出さなければいけないと考え、プレゼン資料を作った職員に提示しました。感染者を出さないことを第一に、何を優先して事業展開していくかを事業部ごとに考えてもらい、緊急事態宣言下の4月下旬にはそれらを具現化していました。

この時に、職員に対して「雇用を守る」というメッセージを発信すること

残るためにどうしたらいいかを考えなくてはなりません。3月中旬頃から本格的に動き出して、まず取り組んだのがコロナ禍での活動方針の作成です。先が見えないからこそ、抽象的な概念を打ち出さなければいけないと考え、プレゼン資料を作った職員に提示しました。感染者を出さないことを第一に、何を優先して事業展開していくかを事業部ごとに考えてもらい、緊急事態宣言下の4月下旬にはそれらを具現化していました。

この一年間、新しい可能性を模索しながら取り組みを続けてきたことで、2021年5月にはいよいよ1年ぶりとなる国際大会を開催する予定です。今、あらゆる状況を想定して準備を進めています。社会に対して価値を提供できる団体として、自分たちのメッセージを発信し続ける覚悟です。

### JBFAスタッフたちの証言④ 高橋めぐみ 事業推進部 有志10人で「おたすけ電話相談窓口」を発足

**す** べての視覚障がい者とその家族(同居人)向けサービス「おたすけ電話相談窓口」は、最初の緊急事態宣言で対面事業が中止になったことに伴い活躍の場を失った、視覚障がい当事者の職員ら有志10人でスタートしました。電話やLINEの窓口を担うチームと解決策を考えるチームに分かれ、72時間以内の回答を目指しています。

コロナ禍では多くの新しいサービスや新しい生活様式などが出てきました。しかし新しいものはマイノリティの人たちに配慮されていないことが多いです。視覚障がい者の方には、コロナ禍だからこそその悩みもあつたようです。

ただ、元々ある課題がコロナによって顕在化し、電話窓口を通じて視覚障がいを取り巻く問題が垣間見えたともいえます。今後みんなが知恵を出し合い、どんな相談にも対応できるように準備したいと思っています。



### JBFAスタッフたちの証言⑤ 源友紀美 広報室 エンゲージメント向上のために内部にも情報発信を

**2** 021年2月に、JBFA職員向けの社内広報としての活動をスタートさせました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の中止や延期への対応が続く中で、どうすれば社内のエンゲージメントを高めていけるかと考えたのがきっかけです。私自身、在宅勤務になって気付けられたのは、これまでオフィスの中では、自然な会話の中で職員同士の情報交換ができていたとい

うことです。またいつ、在宅勤務中心の働き方になるかわかりません。情報が組織内で円滑に回るような仕組みを、今のうちに作っておくべきだと感じました。

最近始めた社内勉強会は、職員の業務やキャリア形成に役立ててもらうことももちろん、みんなから情報を掘り出すチャンスでもあります。フィードバックをもらいながら、自分から新しいアイデアを発信していきたいです。



# ブラサカ2020→2021③ 2020ブラインドサッカー 3大会ダイジェスト

国際大会のワールドグランプリは中止になったものの、2020年には3つの大会が開催された。感染症対策など、これまでになかった取り組みが並行する中での真剣勝負。試合の数は減ったが、中身は濃厚。この勢いで、2021年も選手たちは突き進む……!



**堺会場**  
計7得点の活躍で堺会場におけるMVPを獲得した行廣雄太(兵庫サムライスターズ)



**広島会場**  
スピードに乗ったドリブルで駆け上がる矢次祐汰(A-pfeile広島BFC)



**品川会場**

持ち前のパワーで相手を圧倒した佐々木ロベルト泉(パベレシアル品川)



**守谷会場**  
Derrotó Saber茨城戦で記念すべき初ゴールを挙げた斎藤陽翔(コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ)



**本庄会場**

攻守にわたって活躍した加藤健人(埼玉T.Wings)

## ~ブラインドサッカーを未来へつなごう~ アクサ×KPMG ブラインドサッカー2020カップ

クラブチーム日本一を決める「アクサブレイブカップ」とクラブチーム選手権「KPMGカップ」の通常開催が難しいことから、全国15チームを5会場に分散させる新たな形で実施されたのが、「ブラインドサッカーを未来へつなごう」アクサ×KPMGブラインドサッカー2020カップだ。無観客開催ではあったものの全試合が生中継され、サポーターたちもステイホームで観戦を楽しんだ。

2020年9月から10月にかけ行われた1stラウンドでは、スピードに乗ったドリブルが武器の矢次祐汰(A-pfeile広島BFC)や、公式戦初ゴールを決めた斎藤陽翔(コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ)など、若い世代の活躍が光った。

1stラウンドを勝ち抜いた8チームにより、準決勝及び決勝ラウンドが行われる予定だったが、新型コロナウイルスの感染が拡大していたことから中止となった。

## さいたま市 ノーマライゼーションカップ2020

左/女子選手の普及と強化を図る上で重要な国際マッチとなっている  
下/MIPを受賞した女子アルゼンチン選抜のグラシア・ソサを振り切る女子日本代表の菊島宙(右)



2020年2月22日、埼玉県さいたま市のサイデン化学アリーナでブラインドサッカー女子国際親善試合「さいたま市ノーマライゼーションカップ2020」が開催された。

感染症予防のため開催規模は縮小さ

れたが、日本のエース菊島宙が8ゴールを挙げる大活躍。2年ぶり2度目の対戦となった女子アルゼンチン選抜を8-0で下し、障がい者サッカー7競技団体の統一の日本代表新ユニフォーム初お披露目の日に花を添えた。

## KPMGカップ ブラインドサッカークラブチーム選手権2020



上/決勝戦で4得点の活躍を見せた川村怜  
右/優勝カップを手に喜ぶパベレシアル品川の選手たち



地域リーグを勝ち抜いた国内クラブ7チームが頂点を争った「KPMGカップブラインドサッカークラブチーム選手権2020」。2020年2月8日から9日の2日間、富士通スタジアム川崎で行われ、川村怜、佐々木ロ

ベルト泉、寺西一の日本代表強化指定3選手を擁する新チーム・パベレシアル品川が初出場・初優勝を飾った。

決勝は5-0でコルジャ仙台ブラインドサッカークラブを圧倒し、4得点を挙げた川村がMVPを手にした。



ブラサカキッズキャンプは例年、東日本と西日本でそれぞれ夏休み期間中に開催されている

「ちょうどその頃、社長の谷内はじめ弊社の人間が、ブラサカキッズキャンプなどの現場を拝見する機会がありました。視覚障がい者と晴眼者の交流試合をしたり、飲食の支援をしたりしている。これこそ『混ざり合う社会』な

んだ」と、共生社会の縮図を見たように感じた」（中野氏）  
それはインクルージョン社会の実現を目指していたSantenにとって、理想の姿でもあった。  
その後、両者の思いを具現化するためのビジョンを定める共同プロジェクトも立ち上がった。プロジェクトリーダーを務めるJBF Aの林鉄朗は、10年後の世界をイメージしながらビジョンの策定に携わった。  
『「見える」と「見えない」の壁を溶かし、社会を誰もが活躍できる舞台にする』という共通ビジョンを決め、2030年に向けて目指す世界をイラストにしました。このビジョンをもとに、目の領域における社会課題の解決を目指したいですね」  
共通ビジョンでは3つのゴールが定められた。① 共同体でそれぞれの個性や強みを理解する。② 見えるに関するイノベーションを創出する。③ 視覚障がい者のQOLを向上する。  
具体的には、視覚障がい者と晴眼者の交流イベント、企業・NPO・学校が協働できる「見える」に関するイノベーションハブの構築、視覚障がい者の新たな雇用創出といったことを、ブラサカの競技普及活動とともに進めて

いくという。  
「ピッチ内外でさまざまな取り組みを推進していく予定です。たとえば、イノベーションハブ構想からは、新しいサービスやプロダクトを生み出していきたいと考えています」（JBF A 林）  
ただ、懸念されることもある。リアルイベントなどは、感染症対策として制限されることもありうる。実際2020年は、キッズキャンプなどの体験イベントが中止になることもあった。しかしSanten・中野氏はこうも言う。  
「たしかにできないこともありましたが、パートナーとして進めていくことに影響はなかったと思います。おたすけ相談窓口の設置などは、こういう機会だから模索できたこと。これまでもイベントなどに社員を派遣するなどしてきました。今回も弊社からはデータ蓄積ノウハウを提供できました」  
スポンサーではなくパートナーであるからこそ、互いの強みと弱みが理解でき、連携が取りやすくなっているといる。  
ブラサカという競技を通じて「混ざり合う社会」を目指す両者の協業は、これからますます活発化していきそうだ。

の領域に特化した事業を行うSantenとJBF Aのパートナーシップ契約は2017年から締結されている。2020年10月に発表された10年間の長期パートナーシップ契約は、各メディアでも驚きとともに報じられたが、なぜこれほど長い契約に

なったのか。SantenのCSR室長、中野正人氏はその理由をこう語る。「企業と障がい者スポーツ団体との契約は、通常だと1年や2年といったものが多いと思います。弊社もこれまでJBF Aさんとそのようなパートナーシップ契約を結んでいました。しかし私たちはそれが短く感じていたのです。もっと長いスパンで考えれば、できることが増えるだろうと思っていました」  
JBF Aとの長期パートナーシップ契約の締結前、Santenは2030年とその先に向けて、会社としての長期ビジョンを模索していたという。「ちょうどその頃、社長の谷内はじめ弊社の人間が、ブラサカキッズキャンプなどの現場を拝見する機会がありました。視覚障がい者と晴眼者の交流試合をしたり、飲食の支援をしたりしている。これこそ『混ざり合う社会』な

んだ」と、共生社会の縮図を見たように感じた」（中野氏）  
それはインクルージョン社会の実現を目指していたSantenにとって、理想の姿でもあった。  
その後、両者の思いを具現化するためのビジョンを定める共同プロジェクトも立ち上がった。プロジェクトリーダーを務めるJBF Aの林鉄朗は、10年後の世界をイメージしながらビジョンの策定に携わった。  
『「見える」と「見えない」の壁を溶かし、社会を誰もが活躍できる舞台にする』という共通ビジョンを決め、2030年に向けて目指す世界をイラストにしました。このビジョンをもとに、目の領域における社会課題の解決を目指したいですね」  
共通ビジョンでは3つのゴールが定められた。① 共同体でそれぞれの個性や強みを理解する。② 見えるに関するイノベーションを創出する。③ 視覚障がい者のQOLを向上する。  
具体的には、視覚障がい者と晴眼者の交流イベント、企業・NPO・学校が協働できる「見える」に関するイノベーションハブの構築、視覚障がい者の新たな雇用創出といったことを、ブラサカの競技普及活動とともに進めて

いくという。  
「ピッチ内外でさまざまな取り組みを推進していく予定です。たとえば、イノベーションハブ構想からは、新しいサービスやプロダクトを生み出していきたいと考えています」（JBF A 林）  
ただ、懸念されることもある。リアルイベントなどは、感染症対策として制限されることもありうる。実際2020年は、キッズキャンプなどの体験イベントが中止になることもあった。しかしSanten・中野氏はこうも言う。  
「たしかにできないこともありましたが、パートナーとして進めていくことに影響はなかったと思います。おたすけ相談窓口の設置などは、こういう機会だから模索できたこと。これまでもイベントなどに社員を派遣するなどしてきました。今回も弊社からはデータ蓄積ノウハウを提供できました」  
スポンサーではなくパートナーであるからこそ、互いの強みと弱みが理解でき、連携が取りやすくなっているといる。  
ブラサカという競技を通じて「混ざり合う社会」を目指す両者の協業は、これからますます活発化していきそうだ。

# 「見える」と「見えない」の壁を溶かす SantenとJBF Aの10年の挑戦

2020年10月、参天製薬(以下、Santen)と日本ブラインドサッカー協会(JBF A)、一般財団法人インターナショナル・ブラインドフットボール・ファウンデーションの3者による長期パートナーシップ契約が締結された。10年という長い契約で、どんな未来が実現されるのか。関係者に聞いた。

## 目

の領域に特化した事業を行うSantenとJBF Aのパートナーシップ契約は2017年から締結されている。2020年10月に発表された10年間の長期パートナーシップ契約は、各メディアでも驚きとともに報じられたが、なぜこれほど長い契約に

## 2020年ブラインドサッカー3大会の全試合結果と順位、MVP

### ～ブラインドサッカーを未来へつなごう～ アクサ×KPMG ブラインドサッカー2020カップ

1stラウンド(堺)	
2020年10月4日(日) J-GREEN 堺(大阪府堺市)	
試合結果	
大阪ダイバンス	1-4 兵庫サムライスターズ
兵庫サムライスターズ	3-2 大阪ダイバンス
最終順位	1位 兵庫サムライスターズ(準決勝ラウンド進出)
	2位 大阪ダイバンス
MVP	行廣雄太(兵庫サムライスターズ)

1stラウンド(広島)	
2020年10月17日(土) フットサルドームPIVOX広島(広島県広島市)	
試合結果	
A-pfeile広島BFC	7-0 岡山デビルバスターズ
岡山デビルバスターズ	0-8 ラッキーストライカーズ福岡
ラッキーストライカーズ福岡	0-1 A-pfeile広島BFC
最終順位	1位 A-pfeile広島BFC(準決勝ラウンド進出)
	2位 ラッキーストライカーズ福岡(ワイルドカードで準決勝ラウンド進出)
	3位 岡山デビルバスターズ
MVP	矢次祐汰選手(A-pfeile広島BFC)

1stラウンド(本庄)	
2020年10月18日(日) 本庄市若泉運動公園多目的グラウンド(埼玉県本庄市)	
試合結果	
埼玉T.Wings	4-0 乃木坂ナイツ
乃木坂ナイツ	0-4 free bird mejirodai
free bird mejirodai	0-0 埼玉T.Wings
最終順位	1位 埼玉T.Wings(準決勝ラウンド進出)
	2位 free bird mejirodai(ワイルドカードで準決勝ラウンド進出)
	3位 乃木坂ナイツ
	※埼玉T.Wingsとfree bird mejirodaiの順位決定はPK戦で行われ、2-1で埼玉T.Wingsが本庄会場1位
MVP	菊島宙(埼玉T.Wings)

1stラウンド(守谷)	
2020年10月25日(日) 常総運動公園(茨城県守谷市)	
試合結果	
Derrotó Saber 茨城	0-1 Avanzare つくば
コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ	4-0 Derrotó Saber 茨城
Avanzare つくば	0-3 コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ
最終順位	1位 コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ(準決勝ラウンド進出)
	2位 Avanzare つくば
	3位 Derrotó Saber茨城
MVP	斎藤陽翔(コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ)

1stラウンド(品川)	
2020年11月14日(土) 天王洲公園野球場C面(東京都品川区)	
試合結果	
パベレシアル品川	3-1 ソイエ葛飾
たまハッサーズ	1-0 buen cambio yokohama
ソイエ葛飾	0-1 buen cambio yokohama
パベレシアル品川	2-0 たまハッサーズ
最終順位	1位 パベレシアル品川(準決勝ラウンド進出)
	2位 たまハッサーズ(ワイルドカードで準決勝ラウンド進出)
	3位 buen cambio yokohama
	4位 ソイエ葛飾
MVP	川村怜(パベレシアル品川)

※1stラウンドのみ開催。準決勝ラウンド以降は中止

### KPMGカップ ブラインドサッカークラブチーム選手権2020 2020年2月8日(土)～9日(日) 富士通スタジアム川崎(神奈川県川崎市)

試合結果1日目	
ラッキーストライカーズ福岡	0-2 埼玉T.Wings
遼寧ブラインドサッカーチーム	0-3 コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ
free bird mejirodai	3-0 LEO STYLE 北九州
パベレシアル品川	6-1 F.C.長野RAINBOW
ラッキーストライカーズ福岡	3-0 遼寧ブラインドサッカーチーム
LEO STYLE 北九州	0-2 F.C.長野RAINBOW
※遼寧ブラインドサッカーチームは大会不参加により相手チームの不戦勝	
試合結果2日目	
埼玉T.Wings	0-1 コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ
free bird mejirodai	0-1 パベレシアル品川
埼玉T.Wings	3-0 free bird mejirodai
ラッキーストライカーズ福岡	0-0 (PK 1-0) F.C.長野RAINBOW
コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ	0-5 パベレシアル品川
最終順位	
優勝	パベレシアル品川
準優勝	コルジャ仙台ブラインドサッカークラブ
3位	埼玉T.Wings
4位	free bird mejirodai
5位	ラッキーストライカーズ福岡
6位	F.C.長野RAINBOW
7位	LEO STYLE 北九州
MVP	
川村怜(パベレシアル品川)	

### さいたま市ノーマライゼーションカップ2020 2020年2月22日(土) サイデン化学アリーナ(埼玉県さいたま市)

試合結果	
女子日本代表	8-0 女子アルゼンチン選抜
MVP	
菊島宙(女子日本代表)	
MIP	
グラシア・ソーサ(女子アルゼンチン選抜)	



